

☆MONOづくり新聞☆

4月19日に二十四節気の穀雨に入りました。田植えの準備が始まりましたね。田に水がひかれ、夜になるとカエルが大合唱を始めています。朝晩はまだまだ冷えますが、穀雨の次はいよいよ「立夏」です。季節は確実に移ろっているのに…自然のことをあまり顧みてこなかった私たち人間だけが、置いてけぼりを食らっているような気がしてならない、今日この頃です。

今年もきれいに咲きました！

自粛を余儀なくされている中、例年のように大勢であつまって花見ができなかった皆さんに、紙面上だけでも春の花を愛でて欲しいという思いで撮りだめしておいた写真を掲載したいと思います。



【西村神社の桜】桜は、薄いピンク色と濃いピンク色、空の天色、海の勿忘草色（わすれなぐさいろ）に心奪われます



【元屋の世間桜】今年も豊作だじや！



北小グランド横の桜並木
桜を眺めながらゆっくりお散歩したい場所



武良のさくら祭りの様子です。農村公園の桜が満開になる頃開催されます。たくさんの屋台が出店し、大勢の賑わいをみせます。舞台では歌や踊りや楽器の演奏が花を添えます。時折強く吹く風に桜が舞う様子が目に焼き付いています。

✿一口メモ✿

花見は古く奈良時代の記録が残っています。花見は別名【予祝（よしゆく）】と言い、秋の豊作を願い満開の花のように豊作であることを予め祝杯を挙げ、皆で喜びを先取りする意味があったそうです。喜びの数ほど、幸せが多く訪れますようにという願いが込められていたのです。「飲み会に行ってくる」を「予祝に行ってくる」という言葉に変えたら、家庭にもたくさんの平和がおとずれるかも!!



ものづくり学校からのお知らせ

しばらくの間、ものづくり学校の新規利用（一時利用）は中止させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、長期利用の方はこの限りではありません。

発行：隠岐の島ものづくり学校
TEL:08512-3-1551